

第5回 室蘭市環境審議会 会議録（要約）

日 時：平成25年11月27日（水） 15：00～

場 所：室蘭市役所本庁舎2階 1号会議室

出席委員：中野委員（会長に選出）、稲川委員、白石委員、山本委員、西畑委員、黒川委員、山内委員

欠席委員：吉田副会長、中村委員、増川委員、高丸委員

事務局：木下生活環境部長、北野環境課長、田中同主幹、大澤同主幹、高橋同主事補、小野同主事補

会議次第：（1）開会

（2）委員の紹介

（3）主催者挨拶

（4）会長選出

（5）会長挨拶

（6）報告

「平成25年度版 室蘭市環境白書」について

（7）意見・質疑等

（8）閉会

《会議内容》

【事務局・田中主幹】

第5回室蘭市環境審議会の開催に当たり、事務局挨拶及び委員紹介。

【事務局・田中主幹】

前会長の室蘭工業大学、小幡先生が本年3月に退官されてから会長が未選出となっておりますので、はじめに会長の選出となりますが、室蘭市環境審議会規則第3条により、互選により選出することとなっております。委員の皆様のご意見を伺いたいと存じます。

【A委員】

専門家で経験も豊富な、室蘭工業大学の中野委員にお願いしてはどうでしょうか。

（一同異議なし）

【事務局・田中主幹】

皆様のご賛同がありましたので、中野委員、よろしく願いいたします。

それでは、このあとは、会長に議長を務めていただき、議事を進めていただきたいと存じます。

【中野会長】

中野会長より挨拶。

【中野会長】

はじめに、本審議会は、室蘭市審議会規則により原則公開となっているので、よろしく願いします。

では、早速議事に入りたいと思います。

本日の議題は、環境基本計画の年次報告書である「平成 25 年度版 環境白書」でございます。前年度の平成 24 年度に実施した市の施策について取りまとめたものとなっております。その内容について、市より報告をいただきたいと思います。

(事務局・大澤主幹より環境白書(案)の説明)

【中野会長】

それでは、ただいま説明いただきました件につきまして、質問・意見等をいただきたいと存じますが、いかがでしょうか。

【B委員】

PCB廃棄物処理事業について、最近東京の方からもPCB廃棄物を持って来て処理すると聞きましたが、この点について教えてください。

【事務局・北野課長】

10月25日に環境省から、PCB廃棄物処理事業が予定より大幅に遅れていると聞いております。PCB廃棄物にはトランス、コンデンサ、安定器等がありますが、安定器については本年9月から増設施設で処理を行っております。全国で安定器の処理を行っているのは北九州と室蘭のみで、以前は東京でも処理を行っていましたが、東京事業所のシステムがうまくいかず、このままではPCB廃棄物処理事業を終えるためPCB特措法で定められた期限を守ることができないということで、国で策定している処理基本計画を変えなければならなくなりました。そこで、室蘭事業所で、東京事業所で処理すべきであった安定器を処理することで、平成38年までに終わらせたいという要請がありました。本市としては、この要請に対し、なぜ処理が遅れているのか、今行われている処理事業も含めてこの期限内に終わるのか、等を北海道とともに環境省へ確認しているところであり、その内容を受けて、市民からの意見を頂戴し、議会での論議を経た上で、どのような対応をとるか決まって

いくこととなります。なお、市民説明会については既に2度開催しております。

【A委員】

p.28にPM_{2.5}について記載されており、環境基準を下回っているようですが、越境汚染の影響はどの程度なのか教えてください。

【事務局・大澤主幹】

現在、道内7市でPM_{2.5}の濃度を測定しており、越境汚染による影響度合いは確かなことは言えませんが、西日本と比べると道内での測定結果は低く、低濃度で推移しているところがございます。また、地域的なものとして、道内では旭川市で冬期間高い値が見られました。原因は定かではありませんが、旭川市が海に面しておらず、盆地に立地しており、上空を冷気が蓋をすることにより、大気の流れが滞りやすくなって高濃度が発現しやすくなっているのでは、と考えられております。

室蘭市では、平成24年12月からPM_{2.5}の測定を開始したところであり、道内他都市においても平成23年～24年に測定を開始したところが多いのですが、測定自体が日も浅く、知見集積のためにも今後も継続測定していきます。

【中野会長】

季節によって濃度は変わるのでしょうか。

【事務局・大澤主幹】

一般的に、冬期間に高い値を示すことが多いと言われております。家庭で暖房を使用する季節であり、また、冬道では自動車が速度を落として走行するため、車の流れが夏よりも滞りやすいため空気が滞留しやすくなる等、様々な影響が考えられています。

室蘭市では平成24年12月から測定を開始したため、まだ通年の測定結果はありませんが、1年間の結果が揃い次第、ご指摘の点も注意しながら検証していきたいと考えております。

【中野会長】

p.48の街路灯の省エネルギー化支援について詳しく教えてください。

【事務局・大澤主幹】

防犯灯は、主に町会等の団体が所有し、取り付けや電気代の補助を行っております。LED等の省エネ型の街路灯を設置する団体に対して、設置種によって一定の補助をする制度を用意しております。省エネ型の街路灯を設置する際の費用の一部を市が補助することで、町会の取り組み支援を行っているものでございます。従前から街路灯の設置費補助の事業はありましたが、平成22年度から省エネ型灯具に特化して補助を行っているところであり、p.48に記載しているとおおり、平成24年度は342灯が省エネ型照明となり、合計で796灯の街路灯が省エネ型となったところでございます。

【C委員】

p.52に巻末資料として公害苦情の件数が記載されていますが、悪臭苦情の原因と

して薪ストーブがあると書いてあります。薪ストーブを使用しても大丈夫なのでしょうか。

【事務局・大澤主幹】

該当する苦情については、薪ストーブを焚いているから苦情になるのではなく、薪ストーブを使用する時に、湿った薪や塗装等の付着物の付いた薪を使用することで、焚き付けの際不完全燃焼となり、黒煙が出てばい煙や悪臭苦情につながっています。当課としては、このような相談があった際には現地確認を行った後、所有者に対し使用する薪の選別や、薪を燃やし始める時は少ない量の薪で燃やし始め、徐々に薪を入れていく等の燃焼管理をするよう啓発をさせていただいております。

【A委員】

薪以外のものを入れるのも良くないですね。

【D委員】

新聞で、古い灯油を使うとストーブが痛むという記事を読んだことがあるが、古い灯油とはどのくらい古いものをいうのでしょうか。

【事務局・大澤主幹】

一般的に、古い灯油は良くないと言われていますが、何年経ったものを古い灯油というのかは明確にはわかりません。

【中野会長】

溶剤でポリタンクが溶けることもあるかもしれませんが、灯油が酸化することもあるのでしょうか。

【事務局・大澤主幹】

石油情報センター等、ホームページにも情報があるかもしれないので参考に見てはいかがでしょうか。

【A委員】

p.36 にアライグマ6頭を捕獲したとありますが、アライグマによる被害額はどのくらいなのでしょうか。

【事務局・大澤主幹】

平成24年度の被害額については資料が手元にありませんが、平成21年度策定の室蘭市鳥獣被害防止計画では、平成20年度の被害については、南瓜が30aで2.5万円、スイートコーンが20aで25万円、大根が15aで15万円となっております。

【A委員】

特定外来種にシカは含まれるのか。

【事務局・大澤主幹】

特定外来種は国が指定しているものです。また、室蘭市鳥獣被害防止計画では、鳥獣としてニホンジカ、アライグマ、スズメ等が対象となっております。

【E委員】

北海道生物多様性保全課のホームページで鳥獣被害について公表しているので参考にいただければと思います。

【C委員】

p.35に水洗化率は93.8%であると記載されており、水洗化率はかなり高いと感じましたが、まだ汲み取りの家があるのでしょうか。

【事務局・北野課長】

市内では多くの地域に公共下水道が入っておりますが、一部の地域で汲み取りの世帯があります。地形によって近くに管が通っていても、他人の家の裏に配管を通さなければ下水道につなぐことができない等いろいろな理由があるところもあります。

【中野会長】

水洗化するにあたって補助はあるのでしょうか。

【事務局・北野課長】

環境課の所管では、浄化槽の設置に対する補助制度があります。その他、水道部では水洗便所改造資金貸付制度という無利子の貸付制度があります。

【A委員】

廃棄物対策について、不法投棄が後を絶たない状況にありますが、強制力のある方法で対処したり、工夫した取り組みを行うことも必要なのではないのでしょうか。例えば、パトロールを行っていることを報道により広く周知することや、警察と協力し市内の山間部を巡回することにより少しでも不法投棄を防ぐことができるのではないかと思います。

【事務局・北野課長】

不法投棄については、西いぶり全体、登別から壮瞥町まで同じ圏域として定住自立圏構想の中で共通に同じ意識を持って取り組もうということで、タクシー業界、郵便局、北電と協定を結び、それぞれの業界の作業現場で不法投棄を見つけたら通報してもらうという取り組みを行っているところです。また、不法投棄を見つけるだけでなく、不法投棄を抑制することも重要であり、昨年、環境省北海道地方環境事務所からカメラを借りて設置し、新聞で報道してもらったところ、カメラを設置していた期間全くごみが捨てられておりませんでした。ただ設置するだけでなく、監視していることを周知することで効果があったと思っております。また、不法投棄の看板についても表示の仕方を考え、不法投棄はいけないというものではなく、付近の町会の方が見張っているという趣旨の看板に変えたり工夫をしております。また、警察署と協力し、警察署も監視しているということで、連名の看板を立てることについて許可をいただいたところであり、また、警察の方も実際に巡回を行っております。

【D委員】

p.42に環境家計簿事業「エコライフ☆チャレンジャー」について、平成24年度は22世帯が参加したと記載されていますが、参加するのは例年20~30世帯だと思います。市の職員は協力していないのでしょうか。

【事務局・大澤主幹】

平成24年度のエコライフ☆チャレンジャーの参加は22世帯となっておりますが、この中に市の職員も入っております。また、市民を対象とした事業のほかに、職員に対してもイントラネットの連絡欄を利用して環境家計簿の使用を促したり、チャレンジャーの募集等の啓発を行っております。

【C委員】

環境のためにできる取り組みはだいたい行っているつもりなので、これ以上何をすればよいかわかりません。環境家計簿の取組結果を返すときに、どのような取り組みを行えばよいかも教えていただけるとありがたいです。また、どのような取り組みができるか、広報紙でも少しずつ紹介していただければいいのでしょうか。

【事務局・大澤主幹】

チャレンジャーからいただいた報告の中で、斬新な取り組みについては結果報告の際に情報発信しております。また、広報紙にチャレンジャーの結果を載せるほか、市ホームページでも詳細な取り組みを掲載しております。

【C委員】

マイバッグ持参運動について、買い物袋を有料化している店舗が多くなってきましたが、コンビニエンスストアとも話し合いを進めれば、さらにレジ袋を削減できるのではないのでしょうか。

【B委員】

消費者協会でも同様の取り組みを行っていますが、一方でレジ袋を全てなくしてほしいという声もあるようです。

【D委員】

p.30に市民植樹祭について記載されていますが、植樹をした後、樹木を管理していくことも必要だと思います。樹木の管理については大変なところもあると思いますが、何か補助はあるのでしょうか。

【事務局・木下部長】

市民有志の方に植樹を行っていただいておりますが、管理についても市民の方にお願いをしているところです。市独自の補助はないと思いますが、民間の補助もあるようなので参考にいただければと思います。

【事務局・大澤主幹】

公共部分については都市政策課にも確認をした上で後日連絡させていただきたいと思っております。

【中野会長】

他に意見は無いでしょうか。

意見が出尽くしたようでございます。環境白書については、平成 24 年度分の施策状況をまとめたものでございますので、本日出た意見を参考にしながら今後の計画推進に努めていただきたいと思います。

それでは、本日の審議会については、これで終了いたします。ご協力ありがとうございました。

【事務局・大澤主幹】

貴重なたくさんのご意見をいただき有難うございました。今日の意見をもとに環境施策について検討しながら今後も計画の推進を図って参りたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

本日は、誠にありがとうございました。